

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2020年日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

2. 競技方法について

【トラック競技】

- ①競技に際してはスパイクシューズ（オールウェザー用9mm以下のピン、走高跳については12mm以下、本数は11本以内とする。）、又は、シューズを使用すること。
- ②スタートの合図はイングリッシュコールとする。（全学年対象）
- ③短距離のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
- ④スタートは同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格としオープン参加として走る。
- ⑤リレー競走（男女混合4×100mR）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。
（補欠についても男女各1名ずつとする）
- ⑥リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。
テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑦リレーにおけるマークのテープは各チーム（学校）で準備すること。
また使用後のテープは必ずそのチーム（学校）の選手が外すこと。
- ⑧リレーオーダーはプログラムに記載されている選手以外は認めない。
リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。
ただし、男女による型の違いは認めるものとする。

⑨80mハードルの規定

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

⑩トラック競技の予選はタイムレースで行う。

タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。
それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則第167条2）

⑪800mはオープンレーンで実施する。

【フィールド競技】

- ①コンバインドA 走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。走高跳のバーの上げ方は、次の通りである。

	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	以降3cm
	女子	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	1.05	1.10		以降3cm

走高跳は、2回続けて失敗した時点で終了とする

- ②コンバインドBの走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。

4年以下走幅跳については、試技は3回とする。

- ③コンバインドBのジャベリックボール投は、主催者が用意した器具を使用する。

やり投に準じて行うが、助走距離は15m以内とし、距離の計測は器具が最初に地面についた地点から計測する。羽を持つての投てき、回転投げを禁止する。

3. コンバインド競技

- ①本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。
コンバインド A：80mハードル、走高跳
コンバインド B：走幅跳、ジャベリックボール投
- ②各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2020）』による。
- ※『JAAF 小学生混成競技得点表（2020）』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開
- ③80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ④100点以下の記録は、すべて100点とする。
- ⑤スタートまたは試技を行ない、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。
- ⑥スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。
- ⑦最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑧2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点と同点の場合は、同順位とする。
- ⑨招集について、80mハードルの招集は第4ゲート付近（会場見取り図参照の事）
走幅跳、走高跳、ジャベリックボール投の招集は現地コールとする。
2種目目については現地で競技開始20分前に行なう。

4. 場内指令について

選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

競技者の本部前の通行は可能とします。

また各チーム決められた引率者の入場を許可する。

その場合は主催者が用意する許可証を必ず付けること。

5. ウォーミングアップ場所について

- ①競技場は9時15分まで使用可能とする。
- ②練習は、バックストレートを9時30分から13時00分まで
15時00分から15時30分まで使用可能です。
進行方向は第2コーナーから第3コーナーに向かってアップをして下さい。（逆走禁止）
雨天練習場は使用禁止です。
以上①②については監督・保護者は、チームに徹底させること。

6. 招集について

- ①トラック競技のみ第4ゲート付近に招集場所を設ける。（会場見取り図参照の事）。
各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。
招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。
ただし、男女4年以下走り幅跳びの招集は現地コールとする。
- ②選手は、招集開始時刻に集合し、競技者係より最終点呼を受け、アスリートビブスとスパイクの点検、確認を受けること。
- ③招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ④代理人による招集は一切認めない。
また出場選手、指導者で許可証着用者以外の招集場所への立入りを禁止する。
- ⑤リレーオーダー用紙の提出について
男女混合4×100mリレーについては、12時までにTICに提出すること。
男女4×100mリレーについては、10時までにTICに提出すること。
オーダーは、一度提出したらその後の変更は認められない。
（突発で変更が生じた場合は、主催者が任命した医務員の判断があった場合は変更を認める）
（リレーオーダー用紙はTICにあります。）
メンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。

7. 表彰

各種目3位まで賞状とメダル、8位まで賞状を授与する。

表彰式は行わないので受付（TIC）まで取りに来ること。

8. 競技場への入退場は、すべて係員の誘導指示を受けること。

9. アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。

跳躍種目はこの限りでない。

10. レーン順、試技順について

- ①トラック競技の予選におけるレーン順及びフィールド競技試技順はプログラム記載の順とする。
- ②レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。

11. チーム控え場所及びスタンドの清掃は、監督・保護者の指示により確実に行うこと。

各チーム（学校）で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

12. その他

- ①「新型コロナウイルスに対する大会参加に関する留意点とお願い」に基づき行動すること。
- ②大会中のケガについては、応急処置のみ行いますが、その後については本人（保護者・申し込み責任者）の責任において処置すること。
- ③個人情報の取り扱いについて
 - (1)本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - (2)参加申込みの提出により、上記(1)の取扱いに承諾したものと見なし、氏名、クラブ名、学年、記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - (3)本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞、ホームページ等に公表されることがある。
※和歌山県大会は日本陸連の公式 youtube アカウントで大会の様態を公開予定です。
- ④盗難防止のため、貴重品は各チーム・各自で保管する。盗難・置き引きには十分注意する。